

ランドセルをもらった感想

新1年生 インタビュー 余目第二幼稚園
佐藤絢音さん親子



絢音さん ランドセルの色…キャメル
小学校でがんばりたいこと…勉強

子どもたちがみんな一緒のランドセルで登校できることや、ランドセルの色を選択できるようになったことがありがたく思います。友達と元気に勉強やいろいろな面でがんばってほしいです。(父・裕太さん)

新1年生 インタビュー 認定こども園からふる
箕浦音羽さん親子



音羽さん ランドセルの色…赤
小学校でがんばりたいこと…算数

小さい頃、自分も町からランドセルをもらいました。今回、娘もいただくことになり、このような町独自の取組みに感謝しています。誰とでも仲良く小学校生活を過ごしてほしいです。(父・雄太さん)



ランドセル
人気色ランキング
1位 赤色
2位 青色
3位 黒色
4位 キャメル色

もらって うれしい ランドセル

迎えます。今年も2月6日から2月9日にかけて町内各小学校で贈呈されました。今年も小学校入学式は4月8日。2月から心待ちにしていた新1年生たちが、もうすぐ意気揚々とピカピカのランドセルを背負って小学校生活をスタートさせます。

今年で 49年目 うれしい ランドセル

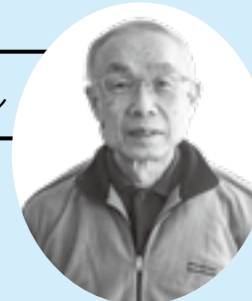
町では新しく小学校に入学する新1年生に、毎年ランドセルを贈呈しています。これは、子どもたちに学校生活への希望をもってもらうこと、保護者の経済的負担軽減を目的として、昭和50年(旧立川町)、昭和53年(旧余目町)から行っているもので、49年目を迎えます。

庄内町の ランドセルの歴史

- 昭和50年 旧立川町ではビニール製の黄色いランドセル、旧余目町ではランドセルを贈呈
- 昭和50年 旧立川町ではビニール製のため6年間使用することが難しく、革製のランドセルを望む声が多く聞かれるようになりました。
- 平成17年 男児には黒、女児には赤のランドセルを贈呈
- 令和2年 個性を尊重する時代となり、ランドセルカラーを選択制に。黒、赤、青、キャメルの4色の中から好きな色を選べるようになりました。

あの頃のランドセル

齋藤雅志さん(上朝丸)
昭和39年 清川小学校卒



昭和30年代頃のランドセルは、今のようには丈夫な革製品ではなく、安価な素材でのランドセルだったので、高学年の頃にはもうボロボロになり、肩ベルトが壊れランドセルを手で抱えて持って行った記憶があります。学校の行事で教科書がいらなときは、風呂敷に学校からの配布物を包んで持ち帰っていたことが懐かしく思い出されます。

新中学生は通学バック

町では新小学1年生へのランドセル贈呈だけでなく、新中学1年生へも通学バック(リュック型)を贈呈しています。贈呈は、それぞれの中学校の入学式の日に行われます。これから始まる新しい学校生活。みなさんのカバンにたくさんの素敵な思い出が詰まりますように。応援しています!



教育長から一言



ランドセルの贈呈事業は、子どもたちに学校生活への期待を抱かせるとともに、保護者の経済的負担軽減などを目的に、子育て支援の一環として49年続いています。

令和2年度からは4色より選択できるようになりました。インタビューを受けた子どもたちの「うれしい」「楽しみ」「4月から学校頑張るぞ!」という声を聞き、来年度も継続したいと思います。